

# 平成23年度確かな学力向上のための具体的取組 **評価**

大館市立西館小学校

## ねらい：確かな学力の向上を図る

「確かな学力」		平成23年度の評価指標と実践課題	学校評価 自己評価B
①知識・技能の習得	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習の約束の提示と家庭学習を含む継続指導</li> <li>全校テスト(年間10回)、算数単元テストの実施</li> <li>言語活動を取り入れた学習過程の工夫、伝え合う場の設定</li> <li>TTの活用、文章を読み取る手立ての工夫</li> <li>問題分析と回復指導の充実(本校独自の「パワーアップタイム」の活用)</li> </ul>	() 昨年 3 (4)
②思考力・判断力・表現力の育成	▲		
③学習意欲・学習習慣	○		
「確かな授業力」		<ul style="list-style-type: none"> <li>各教科での言語活動を取り入れた研究授業による相互研修</li> <li>指導力向上をめざした授業研究会の実施</li> <li>校内外の研修成果の伝達機会の設定</li> </ul>	4 (4)
④生徒指導の機能を生かした学習指導	○		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>学級活動、縦割り班活動、道徳の時間の充実</li> <li>児童会活動の充実、保育園や養護学校訪問等の実施</li> <li>係、委員会活動の充実、児童が活躍する場の設定</li> <li>友だちの行動を認め、賞賛し合う場の設定</li> </ul>	3 (3)

共通実践事項	具体的な取組	達成状況	備考等(課題▲, 成果○)
① 学力向上を目指した学校間の積極的な連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>小・中連携研究会での、学習習慣や学力向上にかかわる情報交換</li> <li>共通実践・市「パワーアップの手引き」活用</li> <li>6年生の中学校体験入学</li> <li>幼保との情報交換</li> <li>●指定訪問授業等における授業研究の交流</li> <li>●自校の研究授業を交流授業として公開(保育園も含む)</li> <li>●他校の交流授業への参加、保育園参観</li> <li>●先進校の公開研究会への参加・伝達</li> </ul>	() 昨年 ◎ (◎) ○ (○)  ○ ○ ○ (○) ○ (○)  ○ (○) ○	○小中のスムーズな接続を意識し、基本的な学習習慣や生活習慣などを共通理解し、指導に生かすことができた。  ○授業研究の交流は図られてはいるが、参加形態や伝達方法の工夫等でさらに充実した研修となるようにしていきたい。
② 「活用する力」を育てるための授業づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>●正確に読み取る力と伝え合う力を育成するための、手立ての工夫</li> <li>●言語活動の工夫(単元構想、目的に応じて選定)</li> <li>●算数的活動の充実</li> <li>●多様な問題の活用</li> <li>●考えをまとめ、学び合う場の設定と支援の工夫</li> <li>●個に応じた指導</li> <li>●様々な活動における表現の場の保障</li> </ul>	○ ◎  ○ ○ ▲  ○ ○	○言語活動を取り入れた学習過程や、自分の考えや思いをもたせる指導の工夫がなされた。 ▲伝える力は付いたが、「伝え合う」「学び合う」までには至らなかった。算数では立式や説明の根拠を自分の言葉で伝える内容に落ち込みがある。

(● 重要な課題であると考えられる具体的な取組)